

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コベルプラス川口教室				公表日	令和7年 10月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・個別療育・集団療育どちらも適切な室内の広さで実施しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・基準を満たした人員で運営を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・各部屋の扉に動物のマークを掲示し、お子様が自分の部屋を認識しやすい環境づくりを行っております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・掃除、消毒は日々実施しております。 ・危険箇所にはコーナガードを付け、安全に過ごせるよう環境整備を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・お子様が心を落ち着かせる場合や他のお子様のお安全のために個別の部屋やスペースを使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・職員間で協力して業務の効率化・改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・頂いたご意見に関しては職員間で共有し、改善を心がけております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日の朝礼、終礼の時間の際に情報共有や気づいた点等についての話し合いを行い、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・現状では第三者評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・定期的に本部が行っている研修に参加し、職員の資質向上を図っております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・ホームページにて公表をしております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・アセスメントの内容や保護者様のご意向、レッスン時のご様子を踏まえた上で計画の作成を行っております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・お子様の様子について全職員でカンファレンスを行い、お子様の姿や支援方法を共有した上で作成しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画作成後は職員間で内容を共有し、共通認識の下、支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・会社で定められたアセスメントツールの使用に加え、レッスン時の行動を観察することで把握をしております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・お子様の支援に必要な項目を適切に設定し、保護者様にも説明を行った上で「家族支援」「移行支援」においては様々な機関や職種と連携を図っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・コベルプラス独自のプログラムをそれぞれのお子様に合わせて提供できるように、職員間で内容の精査や工夫をしております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・お子様の発達や興味関心に合わせアプローチの仕方を工夫し、個別支援課題を入れたプログラムを提供しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別、集団利用それぞれのご利用者様に合わせた計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・当日の支援担当者だけでなく、粗大運動で補助に入る指導員の動きも含め毎回確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・終礼にて打ち合わせを行い、支援の振り返りや情報共有等を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・システムを利用し、療育ごとの記録をとっております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・計画更新の際に必ずモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・保護者様からのご希望により、幼稚園や保育園等の関係機関と連携をとる際には、児発管だけでなく、レッスンを担当している指導員も同行しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・協力医療機関と協定を結んでおります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保護者様からご要望をいただいた際、保育園や幼稚園に訪問し情報共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・保護者様からご希望がないため実施しておりませんが、必要に応じて情報共有シート等を作成し情報共有を行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・月に1度、児童発達支援センターにお伺いし、教室の情報をお伝えしております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・事業所内のイベントの際、地域の方にもお声がけし、交流できる機会を設けております。	・お越しいただいた地域の方が少なく、全ての方と交流することはできませんでした。今後、開催方法を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・フィードバック等で最近の様子や成長した点、課題についてお話をすることで共通理解を持てるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・毎月ペアレントトレーニングを実施しております。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に必ず説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・計画の作成後は、別室にて計画の説明をしております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・計画作成後には保護者様へ説明を行い、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・療育中や療育後に毎回保護者様とお話をする時間を設け、必要に応じて助言や面談を実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・ペアレントトレーニングにて他の保護者様と関わる時間を設けております。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・フィードバック等で頂いたご意見等に関しましては、全職員に周知し、次回療育時には対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・月1回、教室だよりを発行、週1回、HUGで空き状況を配信しております。 ・インスタグラムでも、教室の情報を共有しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の含まれるものは鍵付き書庫に保管しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・状況に合わせて、簡単な言葉を使用したり、必要に応じて筆談等でコミュニケーションをとっております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・毎月1回、近隣関係機関にご挨拶に伺っております。また、事業所内のイベントでは地域の方にもお声がけしております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・安全計画や研修年間計画に沿って防犯研修、訓練等を実施し、全職員が受講をしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年2回以上の避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・フェイスシートにご記入いただく情報に加え、聞き取りで得た情報においてもその都度職員間で共有するようにしております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・食べ物の提供はありませんが、アレルギーの確認は契約時にしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画の策定、計画に沿った安全の確認、訓練等を毎月実施しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・教室内に避難経路を掲示しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット事案が発生した場合は書類を作成し、全職員で状況の確認および対策の検討をし、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年2回以上、虐待防止に関する研修を行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・契約時に必ず説明を行い、同意を得ています。		